



豊橋演劇鑑賞会会報 ●発行2009年3月24日(火)

くらしの中に演劇文化を広げ、日本演劇の民主的発展をめざしましょう！



人生に‘ロマンの花束’を

「観た!?!」「観た、観た、よかったねー。歌もすばらしかったねー。」つい先日のミュージカルについての知人との会話です。久しぶりに会っても、感動があると自然にコミュニケーションもはずみます。

演劇鑑賞会に入会し、15年余。幼い頃から演劇が大好き人間でしたが、高校生の時、演劇部に所属していた、ということくらいで卒業後は、全く別の方面に進みました。就職、結婚、出産と、郷里の四国をかきわきに名古屋、静岡そして最終的にこの地に落ち着くことになったのは、23年前。子育てが一段落した頃から、演劇を観たいという思いが強くなり、誘って下さる方もいて、現在に至っています。結構自分の中にミーハーな部分があり、「あっ、あの有名な俳優さんだ。」という単純な動機で観たいというようなことも少なくありません。又、当初は、喜劇それもゲラゲラと笑わせてくれるようなお芝居を好んでいました。ところが最近では、年令のせいも、しつとりと人生を考えさせられる作品も良いものだな、と年々欲深くなっています。

世界的不況の最中、暗いニュースも多く心が曇りがちな今だからこそ、心にしみる良いお芝居を観て、感動し笑って泣いてということが必要ではないでしょうか。何はともあれ、この地で素敵なお芝居が観続けられる事は、私の平凡な人生に色どりを添える、自分自身へのご褒美‘ロマンの花束’です。

ササリンドウ 久野郁子

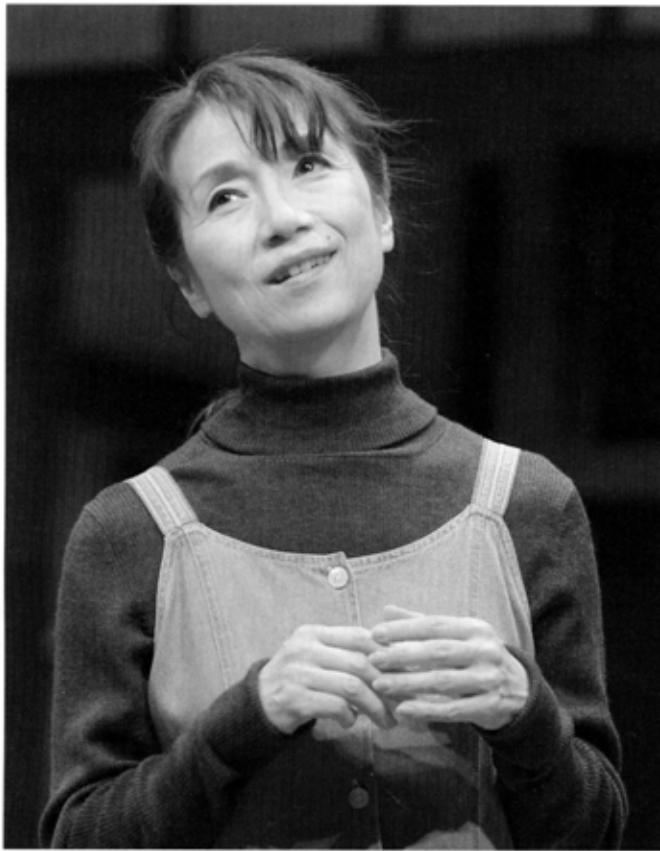
ケイタイでんわの電源は切りましょう！



初雷

家族をつなぐものは何なのか…？
女性の真の自立とは何なのか…？

作／川崎照代
演出／藤原新平



例会日

- 3月24日(火) 6:45開演
- 3月25日(水) 1:30開演
- 上演時間
2時間30分(休憩15分)
(開場は開演の30分前)
- 豊橋勤労福祉会館
(アイプラザ豊橋)

あらすじ

現代、早春、私鉄沿線のとある町。

仕事第一で日々を過ごしてきた理子。三十五歳の時に直面した兄嫁の突然の死で人生は一変。仕事を辞め、残された二人の子供たちを育てるため兄と同居する道を選んだ。

それから十五年、ひたすら家事と子育てに専念してきたが、二人の成人をきっかけにふと己を振り返れば、この先の進むべき道が全く見えない。仕

事に燃えていたかつての自分を取り戻したいと思うが既に五十歳だ。

元の職場に戻れるはずもなく、これといった資格も技能もない。思い立って同期の友人に相談するが反応は冷やかだ。その上、理子の存在が兄の再婚の道を閉ざしていると言われて愕然とする。

自分の選択が本来あるべき家族の姿を変質させた…？自分の選択に自信を持っていたが、改めてこの家は自分のよって立つべき場ではないと思いつらされる。そして十五年ぶりに兄の同級生である山岡と再会し、彼が取り組む事業への誘いを受けることで理子の心は大きく揺れ動く。忘れかけていた仕事への情熱を取り戻すと共に、理子はある決心をする…。





清水明彦
(津田篤志・理子の兄)



八木昌子
(下川長子・智子の知人の母)



倉野章子
(津田理子)



小笠原健吉
(潤一・篤志の長男)



上田桃子
(智子・篤志の長女)



つかもと景子
(澤口桂子・理子の友人)



早坂直家
(山岡・篤志の同級生)

私たちは生活の中でいつも小さな選択をしながら生きていくのだが、人生の大きな岐路に立たされ大選択を迫られるときがある。其の時どんな基準で選択するかによって、その人の運命は180度も転換することになる。運命を左右するほどでもない些細な事柄でもいろいろ知恵を働かすが、やはりどうしても自分本位のしかも目先のことを優先してしまえば後で自己嫌悪に陥ったりするものだ。また正しいと信じた選択も後になってみれば必ずしも正しいとはいえないこともある。川崎さんの劇をいくつか演出して思うのは人と人との絆は何によって培われるのかということであり、今、崩壊に瀕しているといわれる家族とは何か、その絆とは何かということである。だ

がこうした重く解きたいテーマを内包しつつ川崎さんはユーモアに富んだ人物とせりふで笑わせ、そして時には涙でいつしか私たちを共感させてしまうのだ。今の日本は利益優先の経済原則の嵐が吹き荒れている。飛ばされまいとみんな懸命に生きている。今のところどんな形にせよ家族抜きに生きることは難しい。自分ひとりでは自立できない。肉親の家族とは限らない、他力が必要だ。お互いを敬い助け合い感謝する心が自立の精神を生むのだ。人間への信頼と愛。それだけではどんな社会であれ見失うまいとする思いを私は皆さまにお届けしたい。

〈編集・おりえんと近藤玲子〉

川崎劇作品のおもしろさ

演出家 藤原新平

みつやせいごえもんざんじつろく

三屋清左衛門残日録

夕映より人

原作／藤沢周平
脚本／八木柗一郎
演出／安川修一



配役

- 三屋清左衛門…………… 児玉泰次
- みさ…………… 川口敦子
- 三屋又四郎…………… 内田夕夜
- 佐伯熊太…………… 莊司 肇
- 金井奥之助…………… 可知靖之
- 里江(又四郎の妻)…………… 大庭 藍
- 奈津(清左衛門の娘)…………… 山本祐梨子
- 金井裕之進…………… 志村史人
- 小木慶三郎…………… 立花 一男
- 他

あらすじ

東北のある小藩。

前藩主の用人であった三屋清左衛門は現藩主への交替に伴って隠居を願ひ出て許される。家督を長男の又四郎に譲った清左衛門は晴れて自由の身となった筈だが、何故か安堵のあとに強い寂寥感がやって来る。隠居の身となった清左衛門は「残日録」と名づけられた日記に己の行動とともに心の内側も綴ってゆく。

隠居となつていささか淋しい思いをしていたある日、清左衛門は町奉行の佐伯熊太に頼み事をされる。かつて前藩主のお手が一度だけついたおうめが相手のわからぬ子を孕んでいるというのだ。組頭の山根備中はそのふしだらなおうめを罰しようというのである。しかし、清左衛門は現藩主からおうめに一年も前に以後勝手たるべしの書類が出ていたのを憶えていた。清左衛門はおうめに会い、事情を調べると佐伯熊太とともに山根備中のもとに乗り込んでいく。山根備中のもとに乗り込み毅然とした態度を示した清左衛門は、山根

備中が与する筆頭家老・朝田弓之助の派閥と相対することになる。

以後、清左衛門は旧友との出会いにも派閥の陰がしのびより、いつの間にか派閥争いに巻き込まれる。

なにかと慌ただしくなつてきた清左衛門の日常の中の心休まるひとはきは旧友佐伯熊太と女将みさのいる小料理屋「涌井」で酒を酌み交わすことであつた。なにごとにも控えめなみさに清左衛門の心も徐々に惹かれていくが…。

例会日

- 5月8日(金) 6:45開演
- 5月9日(土) 1:30開演
- 上演時間
2時間45分(休憩15分)
(開場は開演の30分前)
- 豊橋勤労福祉会館(アイプラザ豊橋)

1月例会 劇団スイセイ・ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』
 マリア役 中村香織さん
 マックス役 吉田要士さんへのインタビュー

今回は「サウンド・オブ・ミュージック」のマリア役の中村香織さんとマックス役の吉田要士さんにお話を伺いました。

Q「サウンド・オブ・ミュージック」を上演するにあたって特別な思いとかありましたか？



びにとでも苦労しました。西田さんと戦いながら作りました。

Q 都市公演と地方公演との違い(客席の雰囲気)は何かありますか？

(吉) 大きな違いがあります。都市公演はうまく言えないですが一言でいうと冷ややかな目があるような舞台を見せてくれるんだという感じがあります。地方公演は暖かくて親近感をもってみられる感じがあります。特に鑑賞会の例会は桁外れに凄いです。だから本当に続けて行きたいと思えます。

(中) 作品があまりにも有名で、誰もが知っているし、曲だけでもすごいから簡単に出来ないとかわかっていたのでかなりのプレッシャーがありました。作品が訴えているテーマと向き合った時、自分が思っているイメージを置いておいて大切に丁寧にいいものを作って行こうと思えました。映画にはない舞台ならではの良さを出して行きたいと思えました。

(吉) もの凄い高いハードルでした。映画のような山々を出すのは難しいけれど、音楽に関しては同じようにやっています。問題はその台本づくりで、私が翻訳を担当したので、とにかく丁寧に作って行こうと思えました。限られた時間の中の言葉選

Q 健康管理の秘訣は何ですか？

(中) 疲れると抵抗力が落ちるので気を使います。特に乾燥しないように気をつけています。呆れるくらい神経質になってマスクをしています。熱があっても舞台に立つことはできませんが、喉がだめになってしまふと一番困るので怪しいくらい皆マスクしてきます。食物は旅をしてみると偏りがちになるので野菜や果物などもよく摂って気をつけています。

(吉) しつかり食べて、よく寝るという基本が一番だと感じています。睡眠時間は難しいですけれど何とか8時間取るようにしています。疲れている喉も8時間寝ると戻ります。マスクは出番の直前まで使います。

Q 中村さんは演劇鑑賞会に入っていますか？

舞台目指すきっかけになったと聞



いています。

(中) 広島で鑑賞会に入っていて、加藤健一さんの芝居を観て感動したことがきっかけです。普通のチケット売りなら観ていかなかったと思います。今、加藤さんと同じ鑑賞会のラインナップにあることが凄いなと思っています。鑑賞会の存在は私の人生を決めてしまいました。入会した時は高校生だったんですが、同年代の人がいなくてびっくりしました。でも作品がいいからクラスの女の子を誘いました。感動が広がって行くのがすてきだなと思いました。もつと若い子にも広げて薦めて行けたらと思います。

Q 吉田さんの演劇との拘わりは？

(吉) 母親がピアノをひいて

からもの凄く元気になり、「夢があるから」の時は20人も増やしたんです。ですから人生生きがいになる作品を作って行きたいと思っています。

たことで、子供の頃から音楽が好きだったんです。ピアノやトランペットを習っていて、音大に行こうと思ってました。小学校の修学旅行で出し物をやることになって、そこで芝居をやったらうけたんです。ダンスも好きだったので、高校の時にミュージカルをやろうと思いました。大学は経済学部でしたが、夜間にミュージカルの学校に通い、大学卒業後ロンドンに2年ミュージカル留学し、その後スイセイに入り12年目になります。きっかけは音楽だったんですが、小学校の時の小さい小さい自信がミュージカルへの道を開いたのかもせれません。



ちようど30分のお時間を戴きいرونなお話を聞くことが出来ました。とっても爽やかで明るくてかわいい中村さんとダンディで存在感のある吉田さんありがとうございました。担当は運営サークルを代表して安藤、小元、萩本、加藤でした。(G・B・E・加藤)

第209回例会・1月
劇団スイセイ・ミュージカル
「サウンド・オブ・ミュージック」



- 感想文 -

サウンド・オブ・ミュージック

ティーベル T・H

修道尼見習のマリアと七人の子供達の交流がうまく描かれていた。家族がナチスの支配するザルツブルクからスイスへ亡命してゆく経緯も説得的ストーリーだ。傾向的ドラマを歌と踊りで親しみやすいものにしたところに、脚本家の上手さがあったと思う。映画とは違った見どころがあったと思う。

「ありがとう!!!」

トモダチ 石川ひとみ

サウンド・オブ・ミュージック、少女の頃に観た映画で強く感動した事を昨日のように憶えています。今回の作品で強く残っているの

は、修道女達のミサ曲です。今も頭の中で響いています。そして、ベギーさんのメッセージ、各公演ごとに伝えて頂いていると思うと心から応援し、感謝し、確かに受け取りました。ありがとう!!!

心躍るミュージカル

ブーフーワー 中根

11月のミニコンサートに出席し、舞台上立つ役者さん達が身近に感じられ、本番が楽しみでした。よく知られている物語だけに作る側も手の抜けないお芝居。その中であの舞台の展開の良さ、役者さん一人ひとりのうまさに感動感激! 戦争の悲惨さを胸中に思いつつ、それでも心地良い気分浸って帰りました。会員も3名増えました!

よみがえる歌声

キュリー 渡辺令子

劇団スイセイ・ミュージカルによる「サウンド・オブ・ミュージック」は歌もおどろもすばらしく、日本のミュージカルの進歩を物語るものだと思います。もう四十年前に映画で見た「サウンド・オブ・ミュージック」の歌の数々が私の中でよみがえります。当時は英語の歌詞を必死に覚えたものです。高校生だった私に教科書とはちがった新鮮な英語の歌詞は曲と共にしっかりききこまれています。

ミニコンサートの時「英語の歌詞を和訳するのは大変な苦労がある」とうかがいました。そのつもりで一つ一つの歌をききました。「私の好きなもの」の歌詞は楽しそうに特に気に入り、気がつくところまで聞いています。すばらしい作品をありがとうございました。

映画とダブらせて

タッチ 峯村静江

楽しみにしていたサウンド・オブ・ミュージック。スイセイ・ミュージカルの皆さんのパワーあふれる歌や踊りに、ジュリー・アンドリュースの主演の映画をダブらせて心をわくわくさせながら観ていた。舞台最後の「このミュージカルは困難に立ち向かう勇氣、家族愛、そ

して何より平和を愛する心を与えてくれる。」と言われたベギー・葉山さんの言葉が心に残った。

輝いてたベギーさん

虹の会 鈴木登江

毎回楽しみに鑑賞しています。どんなようが開くと歌とともに舞台上にすいこまれていくような感じでした。ベギー・葉山さんと言えは私の学生時代南国土佐の思い出が輝いていました。マリアさんは修道院で天真爛漫なので持て余さっていたようですがステキな方でした。退役軍人のトラップ大佐の子供達の家庭教師に入り厳しく育てられていたので心配で見えていたが、歌と明るさで子供達も理解し溶け込み仲良くなり良かったです。私も涙しました。心に残る演劇、花束贈呈も出来ありがとうございました。

スタンディングオベーション

TEJ コウタロー

スイセイ・ミュージカルの「サウンド・オブ・ミュージック」のカーテンコールで、マリア役の中村香織さんから「ドレミの歌を歌いましょう」と呼びかけられ、歌が始まった。一番前の上手寄りの隅にいた自

分は、思わず立ち上がり手拍子を打ち始めていた。すると近くにいた何人かが立ち上がり、手拍子を打ちながら歌い始めていた。

ドレミの歌が進んでいき、舞台上でアンサンブルのダンスが始まると、あちこちからスタンディングの輪が広がっていった。最後のカーテンコールではかなりの人が立ち上がって拍手を送っていた。

スタンディングオベーションは本来、自然発生的なものであるはずである。人から強制されたり、指示されるべきものではない。もともとは欧米の観劇から生まれたものであり、最近では歌舞伎やミュージカルの世界でもスタンディングオベーションは恒例化してきているようである。

演劇鑑賞会の例会でのスタンディングは聞いたことがない。スイセイに入れ上げて連営サークルに入っただけで見ようかと思っただけで自分ができることは如何にしてこの舞台を盛り上げるかということだった。スタンディングを仕掛けて見ようかと思っただけで、スタンディングしたいと思っっている人は何人もいるはずである。しかしその人たちが自ら進んで立ち上がることはない。誰かがやれば...と思っただけでは、誰かがやればいいものへの感動を素直に表したいと思っ真情を信じたしと自分は思っ



た。

そのきっかけを自分が率先してやれば……と思ったことは事実だ。自分だけがボツンと立っていたとしても仕方がない。自分は仕掛けたつもりで立っていたとしても、自分は感動して立っているんだからと思うようになっていた。

客席全部とはいかないまでも、かなりの人がスタンディングオベーションに参加していたことは、スイセイのみんなに好感を持って受け入れられたことだろう。

カーテンコールは一つのセレモニーだと思う。観客がどう受け取るかがそれは個人の自由だと思う。立ち上がるもよし、立ち上がらぬもよし。要は舞台上に、俳優たちに何らかの形で伝えることが、観たものたちのマナーの一つだと、私は思っている。

大好きなミュージカルに感動

G B E 3 小野田厚子

マリアの歌い出しに思わず心に熱いものを感じました。舞台が始まると、歌に踊りに心うばわれ、あつと言う間の二時間四十五分。この舞台のすばらしさに終始くぎづけでした。また、ドレミの歌の作詩をされたベギー葉山さんの出演にも特別な思いを感じ、この機会に見ることができ、本当にうれ

しく思っています。

「かわいかったリースル」

ジャンク 虹蜂

スイセイ・ミュージカルは「夢があるから」以来三年ぶり。楽しかったです。あの時強烈な印象を残した厚化粧で高慢な大物歌手大海原朱里江を演じた相原奈保子に再開するのが、内心とても楽しみでした。今回はトラップ家の長女リースルという役どころ。恋に憧れる16歳の純情な少女でした。とてもかわいい。あの大海原朱里江では見られなかった軽快なダンスも素敵でした。まさに180度違う印象で改めて演じることのおもしろさを感じさせられました。次にスイセイが来るときにはどんな役を見せられるのか、娘の成長を見るような気持ちで楽しみにしています。

すばらしい女性マリア

藍 J・U

80年以上も前に実在したトラップ一家の愛情物語がどのようなミュージカルになるかとても楽しみにしていました。回りの人達を愛情でつつみこんでゆく、マリア、戦争を体験しながらいろいろな困難にもめげず、明るく前進あるのみの生き方に学ぶところはたくさんありました。

世界中の人達が愛をもってくらせば平和という言葉が生きてくると信じます。



サウンド・オブ・ミュージックを見て

藍 R・A

3年前のミュージカル「夢があるから」を見てとても感動しましたので、今回も楽しみにしておりました。マリアの明るい歌声、はじける動きにすぐに舞台に引き込まれました。七人の子供達の事を思い次々と、どの子にどの様な愛情を与えるべきかをまくしたてる様に大佐に伝える時は圧巻でした。ベギー葉山さんもおっしゃいましたが今の社会にも通じる家族とい

う一番小さな社会がどれだけ大切かと感じます。

舞台の素晴らしさを実感

紫苑 大羽チズ江

サウンド・オブ・ミュージックはあまりにも有名で映画でも舞台でも観たことがあります。しかし、今回の劇団スイセイのものは素晴らしいと思います。

マリアに優しく話す修道院長（ベギー葉山）の始めの場面でもう涙が出てしまいました。その後も何度も目が潤んでしまったのはどうしてでしょう。俳優さんの生の声や歌、躍動感溢れる踊りのエネルギーが私の体にぶつかってくるようでした。このせいだったのでは、と今は思っています。舞台と会場が一体となり、カーテンコールでは、私も会場の皆さんと盛り上がり、拍手で手が痛くなってしまいました。

ベギー葉山さんのメッセージ「こんな時代だからこそ、演劇で元気を」が胸に響きました。

可愛かった子役さん

ドリーム 本多昭子

40年以上前に観た映画のストーリーを選びすぐれた舞台設定で思い出させてもらえ、さすがに考えられていると改めて感動しました。

いつもの例会と違い子役が出ていたのが新鮮で、表情が純粹というか演じていないような気さえしました。終了後のカーテンコールでも、役者さんが涙ぐんでおられるのは初めてで、我々観客の気持ちと一体になっていたからだと、こちらまで嬉しくなりました。

感動をありがとう

紫苑 小林和子

何度も映画で観た大好きな「サウンド・オブ・ミュージック」舞台で観るのは初めて。演劇ならではの創意工夫された装置の素晴らしさに始まり、すてきな歌を目の前で歌う人達にすっかり魅了され、涙があふれて止まりませんでした。入会一年目。初めての片づけの担当も自然と体が動いていました。入会を誘ってくれた友に感謝！



運営サークルのまとめ



劇団スイセイ・ミュージカル
「サウンド・オブ・ミュージック」

第1回運営サークル会

10月14日、24サークル27名の参加でスタート。自己紹介で始まり自分にとって演劇鑑賞会とは何かを語り合いました。「入会し一緒に観るようになった主人の変化や、自分とは違う観方をしているのをおもしろい。何より家族で共通の話題ができてうれし」「日常から離れ自分自身をとり戻す大切な時間」など出されました。又、運営担当の例会はどうやって決めているのかと質問があり、入会してまもない初参加のサークルや1回目から30年以上継続しているサークルがある中、新鮮な空気が流れま

した。そして、運営サークルとは何をするところか？例会当日の役割だけではない、例会の成功に向けての取り組みや目標を確認。第2回目は劇団員を迎えミニコンサートを開催することになり、劇団から送られたDVDを各サークルに持ち帰り、全員で観て盛り上げて年内に前例会クリア達成しようと決まりました。

第2回運営サークル会

11月8日、商工会議所に於いてミニコンサートを開催。マリア役の中村さん、マックス役の吉田さん、エルザ役の星野さん、製作担当の吉井さんを迎え、劇団スイセイミュージカルの成り立ちから、サウンド・オブ・ミュージックの時代背景、実在したトラップ家の事、ミュージカル上演に至るまでの苦労話等トーク。その後、本番さながらの迫力ある歌声に大感激。参加者32サークル61名でドレミの歌、エーデルワイスを合唱して期待を膨らませることができました。

ミニコンサート終了後劇団員を交え、今日の感動を決して自分だけのものにしなさい、最大限広げ一人でも多くの新入会員を迎えること、新サークル作り、サークル化、根分けでサークルクリアも達成する取り組みについて話しました。

第3回運営サークル会

12月2日、26サークル30名参加。この段階で入会14名、内運営サークルでは3サークル5名でした。ミニコンサートの感想とお誘い状況を具体的に話し合いましたが、作品の知名度、ベギー葉山さんの出演ということに頼りすぎている感があり、DVDも生かしきれないことがわかりました。この現状をサークルの皆さん全員に葉書でお知らせし、更にDVDやミニコンサートの資料を活用すること、代表者だけの動きにならないように話し合いました。

その後、座席指定作業人数、新しい会員手帳のシール貼りや、小夜食、ロビー交流会の事等を決めていきました。年内に前例会クリアを達成しようと終了しました。20サークルが一度も運営サー

運営委員

- 小松孝太郎(豊橋演劇塾)
- 小元秀子(ヘチャクチャ)
- 萩本匡史(よせなへ)
- 松本はつ子(虹の会)
- 加藤慶吾(GBE)
- 安藤美佐子(三色だんご)

クル会に参加していないことも課題として残りました。

第4回運営サークル会

年内に前例会クリアをし、運営委員による電話がけで各サークルに報告。第4回目は1月15日、15サークル15名の参加。入会37名。

第5回運営サークル会

運営サークル全員に出した葉書の反応はどうだったのか、どのように活用できたのかを話し合いました。例会当日までより多くの会員拡大の働きかけを確認。2月4日昼、5日夜15サークル参加。お芝居の感想、運営に参加して気付いた事や思った事等、活動のまとめをしました。昨年の総会にはじまり、ミニコンサートや当日搬入後の茶話会と劇団員と交流する機会が多くあり「感動は劇場にいるすべての人と一

緒につくる」という劇団の姿勢が強く伝わってきた例会でした。当日は参加率も高く会場のふんいきを盛り上げました。まとめの会は少ない人数でしたが、感想を語り合うことでさまざまな見方や感じ方を知り、さらに作品が深まって印象に残るものになりました。



会員数

11月「詩人の恋」	2,015名
1月「サウンド・オブ・ミュージック」	2,029名
入会45名、退会31名	+14名

サークル数

新サークル4	減サークル3	+1サークル
(根分け2)(サークル化2)		

運営サークルの活動

運営希望サークル	58	サークル
参加サークル	55/58	サ 95%
入会を促したサークル	16/55	サ 29%
入会者数	22/45	名 49%

例会参加状況

1/30(金)ヨル	776名
1/31(土)ヒル	1,022名
計	1798名
参加率	89%

運営サークル会の日程

3月「初雷」

第5回運営サークル会
4/1(水)2:00～と7:00～

5月「三屋清左衛門残日録」

第3回運営サークル会
4/3(金)2:00～と7:00～

第4回運営サークル会
4/16(木)2:00～と7:00～

第5回運営サークル会
5/15(金)2:00～と7:00～

(運営サークル会は代表者
だけでなく、各サークル
複数で参加しましょう。)

2009年度の最初の例会は、「三屋清左衛門残日録～夕映えの人～」藤沢周平文学の舞台化決定版!「きょうの雨、あしたの風」につく俳優座時代劇が再び登場!劇団俳優座のみなさんと共に運営サークルが協力して例会を成功させましょう!

5月例会 俳優座「三屋清左衛門残日録」運営サークルのみなさん

A番のサークル	B番のサークル	C番のサークル	D番のサークル
翼 かわらよもぎ バイオレット 若草 マナビス 枝折戸 ミズ・デイジー ゆう3 ゆう2 Gクラブ メリーポピンズ アクアビット 希望の帆 (13サークル)	まんさく 本宮 ハタハタ しずく サイネリア くまちゃん 三鈴 ゲンノショウコ 三姉妹 雪月花 松竹梅 コンジュ 忍冬 かぶと (14サークル)	どんぐり エメラルド わんだ～らんど 小窓 ポインセチア ジュリアーノ よもぎ 星影 むぎ (9サークル) 希望サークル数 49サークル 271名	ハートスタッフ 葉月 ハイビスカス だいこんの花 ベティーちゃん ディアーナ みと小怪 ガヤ娘 三河三座 赤ずきん4 みゆき会 (11サークル)

開演5分前の中央づめについて

* 舞台と観客の客席を緊密にして観劇しましょう。

開演5分前の1ベルの後、運営サークルの指示で、会場中央に向かって座席の横づめをします。

* 開演に遅れた方は、2階席へ。
休憩後は指定座席の「列」の空いた席に詰めてすわりましょう。

例会場内での飲食・喫煙、および写真撮影はできません。
例会場内では、携帯電話、アラーム時計等々の電源をお切り下さい。会員みんなで気持ちよく観劇できるように、協力しましょう!

鑑賞会活動日程

『三屋清左衛門残日録』観劇希望日切日

4/2(木)

『三屋清左衛門残日録』座席シール渡し期間

4/13(月)～4/17(金)

『三屋清左衛門残日録』例会日(2ステージ)

5/8(金)		(ヨル)6:45～
5/9(土)	(ヒル)1:30～	

『初雷』後の退会手続き期間

3/27(金)～4/2(木)

中部・北陸ブロック活動日程

ブロック幹事会	4/11(土)
ブロック活動交流集会	4/25(土)～26(日)

例会の感想や運営についてのご意見をどんどんお寄せ下さい。

☎ 豊橋演劇鑑賞会のメールアドレス ☎ enkan76@mx2.tees.ne.jp